

自己評価報告書

平成23年 4月22日現在

機関番号：11101
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2008～2011
 課題番号：20592570
 研究課題名（和文） 継続ケアが必要な慢性疾患患児をもつ母親の社会的支援ネットワークに関する研究
 研究課題名（英文） A research study regarding the social support network for mothers whose children requiring continuous medical cares for the chronic diseases
 研究代表者
 北宮 千秋（KITAMIYA CHIAKI）
 弘前大学・大学院保健学研究科・講師
 研究者番号：10344582

研究分野：医師薬学

科研費の分科・細目：看護学・生涯発達看護学

キーワード：慢性疾患患児の母親、ソーシャルサポート、ストレス、コンボイモデル

1. 研究計画の概要

Community の中で子どもと家族に「子どもの疾患」という事象がもたらす生活環境の変化は、今までの環境システムとは異なる新たなシステムが動き出すと考えられる。ソーシャルサポートの果たす役割を多角的に検討する。

- (1) 慢性疾患患児の母親を対象とした社会的支援ネットワークに関する質問紙調査から、ストレス、主観的幸福感、他者依存性とソーシャルサポートの関連を検討する。
- (2) 健康な子どもを育てる母親を対象とした社会的支援ネットワークに関する質問紙調査から、ストレス、主観的幸福感、他者依存性とソーシャルサポートの関連を検討する。
- (3) 慢性疾患患児を育てる母親と健康な子どもを育てる母親の比較検討を行う。
- (4) 慢性疾患患児をもつ母親に対して、コンボイモデルを用い、社会的支援ネットワークを可視化し、関係に関する母親の思いから、ネットワークの特徴を分析する。

2. 研究の進捗状況

- (1) H20 年度は、慢性疾患患児の母の不安とソーシャルサポートの関係を検討した。その結果は、「慢性疾患患児の母親の不安に関する背景要因の基礎的研究」としてまとめ、公表した。母親の不安は同居祖父母や近所の人、友人から受けるサポートがあると緩和されていた。特に同居している祖母の影響が大きく、母親の不安を和らげる効果を持つことが示された。

「慢性疾患患児が利用しているサービス情報源」の調査では、親の開拓力により

知り得た情報が多かった。関係する施設も多くなっており、子どもの病状を理解してコーディネートする役割を担う人材の必要性が示唆された。

「慢性疾患患児の就学前後の親の体験」からは、子どもの小学校入学時の親の体験として、【学校選択に関する親の希望】、【教育機関への戸惑い】、【学校の決定要件】、【家族内調整】、【サービス不足】、の категория が抽出された。就学先を決定する際は、医療側も家族の相談に応じ、親の戸惑いを軽減することが求められた。

H21 年度の調査からは、ストレスとサポートの関係に、夫のソーシャルサポートとストレスは負の相関が認められた。

平成 22 年度までに、302 人の対象者の協力を得た。

- (2) H22 年度は、162 人の対象者の協力を得た。最終年度は(1)と同様に分析をすすめる。
- (3) (1)、(2)の調査から、分析を行っている。通院児の母親と健常児の母親の、主観的幸福感、ストレス、他者依存性、ソーシャルサポートの各項目について分析を行った。項目差が認められたのはソーシャルサポートであり、健常児の母親の方にサポート得点が高いことが認められた。外来通院児の母親に子どもの闘病という困難を経験する中で、他者へのサポート期待が低下している状況にあることが推察された。
- (4) H22 年度から H23 年度にかけて、28 人を対象に面接調査を実施する。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

H22 年度の面接調査を春季休業中に集中的

に実施する計画であったが、H22 年度末の東日本大震災により、対象者との面接調査を延期せざるをえなかった。そのため、(4)の調査に多少の計画変更の必要性が生じている。しかしながら、病院外来での質問紙調査等を終えていることから、おおむね順調と評価した。

4. 今後の研究の推進方策

東日本大震災により、余震等続いているため、夏季休業および冬季休業時に変更し、年度内の実施に向けて調整を行う。そこで、平成 23 年度の前半に質問紙調査の分析を進める予定で計画している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- ① 扇野綾子、北宮千秋、一戸とも子、鈴木光子、成田牧子、米坂 勸、障害のある慢性疾患患児の就学前後における親の体験、弘前大学大学院保健学研究科紀要、9、21-28、2010、査読有
- ② 北宮千秋、扇野綾子、一戸とも子、鈴木光子、成田牧子、米坂勸、慢性疾患患児の母親の不安に関する背景要因の基礎的研究、弘前大学大学院保健学研究科紀要、7、1-8、2008、査読有

[学会発表] (計 5 件)

- ① 扇野綾子、北宮千秋、鈴木光子、一戸とも子、継続ケアが必要な慢性疾患患児の母親のストレスと主観的幸福感 (1) - 背景要因及び他者依存性との関連 -、第 30 回日本看護科学学会学術集会、2010.12.4、札幌
- ② 北宮千秋、扇野綾子、一戸とも子、鈴木光子、継続ケアが必要な慢性疾患患児の母親のストレスと主観的幸福感 (2) - 母親のソーシャルサポートとの関連 -、第 30 回日本看護科学学会学術集会、2010.12.4、札幌
- ③ 北宮千秋、芝山江美子、障害をもつ子どもの親からみた保健師の支援者像 - 親への聞き取り調査から -、第 68 回日本公衆衛生学会総会、2009.10.22、奈良
- ④ 北宮千秋、扇野綾子、鈴木光子、一戸とも子、障害を伴う慢性疾患患児が利用しているサービスとその情報源、第 28 回日本看護科学学会学術集会、2008.12.13、福岡
- ⑤ 扇野綾子、北宮千秋、一戸とも子、鈴木光子、障害を伴う慢性疾患患児の就学前後における親の体験、第 28 回日本看護科学学会学術集会、2008.12.13、福岡

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]